

ポートフォリオの基本

鈴木敏恵

s-toshie@ca2.so-net

未来教育デザイナー・一級建築士

ポートフォリオとは

その人のこれまでの「活動歴」あるいは、「作品歴」などをファイルしたもの。
ポートフォリオとは、紙ばさみや書類鞆、あるいは建築家の作品歴ファイルを意味します。つまりバラバラの情報を一元化することとらえればいいでしょう。その人の歴を未来に活かす目的で、その人の「意志」で一元化したもの。

ポートフォリオ評価とは

ポートフォリオをみるとテストなどでは評価出来ない能力や個性、潜在的な力や考えの変化や成長を見いだすことができます。このようにポートフォリオを活かす評価を「ポートフォリオ評価」といいます。

ポートフォリオはここに役立つ！


- 1 学習、研究、体験、実習—などの「目標」や「成果」や「評価」を明確にする
- 2 結果だけでなく、プロセス重視の自己評価・他者評価・相互評価
- 3 その人の個性や考え方が見いだせ、個性発見や進路検討に活きる
- 4 自己紹介や面接などに活き、学歴や成績重視でない採用面接や人事評価に活きる

ポートフォリオの種類

ポートフォリオは大きくふたつの種類に分けることができます。ひとつはテーマで一元化された「テーマポートフォリオ(学習歴ファイル)」、もうひとつは、その人のしてきた成果を一元化した「パーソナルポートフォリオ(活動歴/実績歴ファイル)」。どちらのポートフォリオも、未来に活かす意図で、自分が手に入れた情報や自分の活動の成果を一元化したものという観点では共通です。

ふたつのポートフォリオの「目的と中身」

テーマポートフォリオ 〈学習歴〉



教科や総合的な学習、研究などに通している。

目的


- ・研究プロセスの一元化
- ・成果の凝縮、再構築
- ・学習の軌跡確認

中身の例

- ・テーマと理由
- ・計画やプロセス
- ・情報、写真、スケッチ、図
- ・インタビュー、取材メモ、感想、考察
- ・学習の成果を示すもの

※テーマポートフォリオも大きな意味ではパーソナルポートフォリオに含まれる。

パーソナルポートフォリオ 〈作品歴／実績歴〉



自己肯定感を得る。自己紹介がうまくなる。面接など進路に有効。

目的

- ・自分に自信がつく
- ・得意や強みや自分の個性を発見できる
- ・進学や就職の面接や自己推薦に有効

中身の例

- ・個性やセンスが伝わる作品
- ・作文、論文、活動記録
- ・資格スキル一覧
- ・公的評価（受賞、推薦文）
- ・新聞、雑誌への寄稿など

ポートフォリオの「再構築」

「元ポートフォリオ」をギュと凝縮し再構築したものを「凝縮ポートフォリオ」といいます。面接などに役立てればそれは「勝負ポートフォリオ」となり未来の力になります。



出典：医学書院「ポートフォリオ評価&対話コーチング」著 鈴木敏恵

出典：学研「こうだったのかポートフォリオ」学事出版「ポートフォリオで評価革命」著 鈴木敏恵

参考HP：鈴木敏恵の医学ポートフォリオのサイト <http://www.igaku-portfolio.net/>